

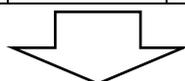
甲南大学自然科学研究科知能情報学専攻（修士課程）の
収容定員変更にかかる学則変更の趣旨等を記載した書類

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

甲南大学大学院自然科学研究科知能情報学専攻は、令和5年度より修士課程
入学定員6名を10名に変更することにより、4名増員する。したがって、この
入学定員の変更により、甲南大学大学院自然科学研究科知能情報学専攻の収容
定員は以下の通りとなる。

表1 現行（令和4年度）と変更後（令和5年度）の人員
現行（令和4年度）

研究科	専攻	修士課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
自然科学研究科	物理学専攻	12	24	3	9
	化学専攻	12	24	—	—
	生物学専攻	5	10	—	—
	生命・機能科学専攻	—	—	3	9
	知能情報学専攻	6	12	2	6
	計	35	70	8	24



変更後（令和5年度）

研究科	専攻	修士課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
自然科学研究科	物理学専攻	12	24	3	9
	化学専攻	12	24	—	—
	生物学専攻	5	10	—	—
	生命・機能科学専攻	—	—	3	9
	知能情報学専攻	<u>10</u>	<u>20</u>	2	6
	計	<u>39</u>	<u>78</u>	8	24

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

甲南大学大学院自然科学研究科知能情報学専攻（以下、知能情報学専攻）は、修士課程が平成 5(1993)年に、博士後期課程が平成 7(1995)年に設置された情報・システム科学専攻を祖とし、情報システム工学専攻を経て、平成 24(2012)年 4 月に「情報通信」「人間知」「機械知」についての高度な教育・研究を目標とした、修士課程入学定員 6 名、博士後期課程入学定員 2 名の専攻として名称変更を行い、現在の姿となった。

修士課程においては、「Web コミュニケーション」「ヒューマンインテリジェンス」「マシンインテリジェンス」の 3 つの履修モデルを設定し、学生は各々の履修モデルに沿って研究に取り組み、それぞれの目標に対応してきた。

2016 年「第 5 期科学技術基本計画」の Society5.0 の提唱に伴い、新たな産業改革が起こっている。ここでは、Cybernetic Avatar(CA)に代表されるように、サイバー空間における新たな社会形成が行われつつあり、サイバー空間とフィジカル空間（実空間）の行き来が自由になり、サイバー・フィジカル空間からなるデジタルツインという環境が構築されつつある。このように新たな社会環境が急速に構築されつつあり、これらは AI やデータサイエンス、ロボット等種々の情報学の技術が支えとなっている。このような社会情勢の中、これらに対応できる技術を身につけた技術者や研究者の需要が高まっている。このような需要に対応する人材を輩出すべく、知能情報学専攻では、令和 4 年度より、上記の 3 つの履修モデル（「Web コミュニケーション」「ヒューマンインテリジェンス」「マシンインテリジェンス」）を発展させ、「AI データサイエンス」「クラウドシステム」「知能ロボット」「数理情報」「ヒューマンセンシング」「メディアデザイン」の 6 つの履修モデルをもったカリキュラムを構築した。これにより、情報学及び数学における種々の分野の研究を推進し、知能情報学研究の充実化及び研究力の強化を図る。それに加えて、入試制度の見直しや経済的負担の軽減措置等の対応により大学院への進学意欲が高まることを考慮し、修士課程の定員を 6 名から 10 名に 4 名増員する。

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

本定員変更に伴う知能情報学専攻の教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織については以下の変更を施す。

まず教育課程、教育方法及び履修指導方法については、定員変更に先立ち、上述のとおり令和 4 年度より先行して学部と同じ 6 つの履修モデルを設定し、科目の見直しを行った。具体的な履修モデルを設定することにより、初年次か

ら目的意識とモチベーションが高まり、学生自らが目標設定を行うことでより意欲的に学習に取り組むことが期待される。学部と同じカテゴリーで履修モデルを設けることによって学部と大学院のプログラムの接続性が高まることに伴い、内部進学を希望する学生にとってもつながりが明確になり、両者がともに発展することが期待される。現在においても極めて少人数による教育・研究を行っているが、6つの履修モデルに応じ、修士1年次前期に開講する講義科目をより学部との接続性を高めた内容で実施するなど、教育方法にも工夫を行う。

また、自然科学研究科の共通科目を除き知能情報学専攻として独立した科目体系となっているため、収容定員増による他学部、他研究科への影響はない。自然科学研究科の共通科目として科学技術英語があるが、増員が4名と少数であるため、他専攻への影響もない。

知能情報学専攻の教員数は現在19名であり、6名の入学定員（収容定員12名）に対しST比は0.6であり少人数教育に取り組んでいる。知能情報学専攻の定員を10名（収容定員20名）にしても、ST比は1.1であり、従来から特徴とする少人数制に基づく教育の質を十分に担保できる。